

決算行政監視委員会にて北朝鮮関連の質疑

4月21日、衆・決算行政監視委員会の外務省関係分科会で質問に立ち、北朝鮮に関連するミサイル問題、拉致問題などについて、これまでの経緯と今後の方針を質疑しました。その要旨を報告いたします。

蘭浦 北朝鮮のミサイル発射後、国連にて政府はどういう働きかけをしたのか。

伊藤外務副大臣 米中口はもとより、議長国メキシコをはじめとする安保理非常任理事国の全てに対して、直接働きかけを行なった。議長声明は、十分に強い内容で、ベトナムやリビアやウガンダも含め、15か国全部のコンセンサスを得て、強いメッセージを発出できた。

蘭浦 米英韓は、日本と立場を一にしていた。一方で、中口は、決議に対して非常に慎重派であった。5か国以外の理事国は、日本側に近い方が多かったのか、もしくは、決議には慎重で、中国に近い方が多かったのか。

伊藤外務副大臣 15か国のうち大半は日本の主張、日本の考え方に同調した。少なくとも一定の理解を示したと考えている。

蘭浦 15か国の大半が我が国寄りであるというのは、非常に大事なことだ。国際世論は日本寄りということをもっと知らせる努力をすべき。ミサイル発射は、拉致問題に対してどのような影響を与えているのか。今後の方針も伺いたい。

伊藤外務副大臣 北朝鮮に対して我が国として抗議を行なった際、拉致、核、ミサイルの諸懸案解決に向け、具体的な行動をとるように求めた。昨年8月の日朝合意に従って、権限が与えられた拉致問題に対する調査委員会の早期立上げ及び全面的な調査の開始を求めている。拉致問題に関する全面的な調査を早期に開始することを更に求めたい。

蘭浦 北朝鮮のミサイルだが、1段目はほぼ通告どおりの地点に落下した。ほぼ北朝鮮が想定した性能を発揮したと思う。それを引き揚げて分析すれば、今、北朝鮮が持っているミサイルの能力がほぼ分かると思う。これを引き揚げた場合、所有権は我が国政府だと主張できるのか。

伊藤外務副大臣 海上に落ちた落下物については、一般的には回収が困難であることもあり、回収作業の法的性格を巡る確立した国際法上の解釈は無いが、実際の回収に当たっては、法的側面も考慮する必要があると考えている。

新型インフルエンザについて

新型インフルエンザが世界的に各地で確認されています。政府も、国家の危機管理上、重大な課題であるとして、対処方針を定めました。

情報収集とその迅速な提供、徹底的な水際対策によるウイルスの侵入阻止などです。国内の医療体制もきちんと整備をしなければなりません。ワクチンの製造や抗インフルエンザ薬の備蓄なども進めており、今回のインフルエンザに有効とされるタミフルも備蓄があります。

何よりも、インフルエンザ予防の基本は、マスク、うがい、手洗い。個人で出来る予防策を皆さんで行なうことが重要です。ご協力をよろしくお願い致します。

事務所からのお願い!!

「そのけん」とティータイム(ミニ集会)をいかがですか!!

「ミニ集会」は、蘭浦健太郎代議士との懇談・意見交換を通じて、代議士と直接触れ合って頂く企画です。各地で開催してきましたが、国政に関する質問だけでなく、身近な問題やご要望など活発な意見交換が行われ、大変好評を頂いています。

- 人数は? 5～10人程度(もう少し多くても構いません)
- 時間は? 約1時間程度
- 場所は? 開いて頂ける方のご自宅や会社など
- 内容は? お茶を飲みながら、どんな話題でもOK
- 準備は? 何も必要ありません。(親しい人などを集めて頂くだけです)
- 連絡は? ご希望の日時、場所を事務所あてご連絡下さい



衆議院議員

そのうらけんたろう
蘭浦健太郎

自由民主党千葉県
第五選挙区支部長

あだ名は小学校からずっと「そのけん」です。

地元事務所 〒272-0021 千葉県市川市八幡2-16-20-203

☎047-318-1001 Fax047-336-8801

国会事務所 〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館211号室

☎03-3508-7701 Fax03-3508-3451

E-mail sonoura@au.wakwak.com ホームページ <http://www.sonoken.org>

ホームページも、是非ご覧下さい。活動日記を連日、更新しています。